

1 あなたの学校や家での学習のことについて教えてください。

■分析と今後の指導上の工夫

・「勉強が好きですか」の設問に対して、本校の肯定割合は50%で市の肯定割合を下回っている。「次の教科などの学習は、好きですか」の項目では、国語と算数の本校の肯定割合が、市の肯定割合を下回っている。全ての児童が分かりやすく楽しいと感じる授業を目指し、「勉強が好き」と感じられるような学習活動の工夫をしていく。

・「学校の授業がどの程度分かりますか」の設問に対して、本校の肯定割合は91.7%で市の肯定割合をやや下回る。授業中は、どの教科でも意欲的に取り組み、進んで課題を解決したり、発言したりする様子が多く見られることから、これまで以上に授業の導入や学習活動を工夫し、分かりやすく、児童の意欲をより向上させる授業を目指す。

・「次の教科などの学習は、将来のために大切だと思いますか」の項目では、教科によって、肯定割合が低いものもある。児童が、自分たちの生活や将来のために学習内容が役立つことを実感できるような支援や声掛けをしていく。

・平日の家庭での学習については、平均すると1時間～1時間半の学習時間である。学習時間だけでなく内容も充実するよう課題を設定し、指導していく。休日の家庭での学習時間については、個人差が大きい。今後とも家庭と連携しながら指導を継続していく。

・「授業の始まりには席についている」の設問に対して、本校の肯定割合が100%であった。年度当初から、授業の始業時刻の2分前には自席につくことを意識して指導してきた。現在は、児童同士で声を掛け合い、時刻を守ることができているため、今後も継続していく。

・「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」の設問は、市の肯定割合を下回った。話し合い活動では、友達の意見を取り入れるだけでなく、自分の意見を踏まえた上でさらに考えを深められるよう支援や声掛けをしていく。

・「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」の設問は、市の肯定割合を大きく上回っている。これからも、児童が自ら目標や目的をもって学習に取り組む学習意欲の向上を図るため指導の工夫をしていく。

2 あなたの毎日の生活について

■分析と今後の指導上の工夫

・「あいさつ」についての設問では、学校でのあいさつの肯定割合は100.0%であったものの、家庭でのあいさつの肯定割合は市の平均を下回った。学校ではあいさつ週間や日々の指導の成果もあり、あいさつの大切さを意識できていることが分かる。学校できちんと意識できているあいさつが、家庭まで広がるよう声掛けを継続していく。

・「社会生活のルールや公共の場所でのマナーを守ること」についての設問では、肯定割合が100.0%であった。今後も、きまりやマナーを守って生活することができるよう、支援していく。

・「読書の時間」についての設問からは、読書の時間には個人差が見られることが分かる。特に、学校が休みの日については、ほとんど読まないと回答した児童が多い。学校図書館司書と連携を図り、読書の大切や面白さを伝えていく。

・「学校以外で、1日にどれくらい『テレビ』、『タブレット、パソコンの動画』を見たり、テレビやタブレット、パソコン、ゲーム機でゲームをしたりしていますか」の設問では、平日、休日ともに1時間くらいの層の回答割合の児童が多い。今後も、スマートフォン、パソコンなどの危険な側面をきちんと理解させた上で、家庭との連携を図り、使用上のルールの話合いやフィルタリング等の設定を説明していく。

・「あなた自身のこと」についての項目では、肯定割合が市の肯定割合を上回っている設問が多く、児童が責任をもって仕事に取り組むことや働くことの大切さ、協力することの大切さを自覚していることが分かる。中学生に向けて、この気持ちをさらに高めていけるよう、支援していく。

・「家の人や先生」についての項目では、すべての設問の肯定割合が市の肯定割合を下回っている。家庭と協力し、児童の支援を行っていくことと合わせて、家の人と一緒に過ごす中で、学校生活や世の中のこと、自分の夢についても話す機会がもてるよう、家庭への協力をお願いしていく。

・「家での過ごし方」についての項目では、すべての設問の肯定割合が市の肯定割合を下回っている。これからも、規則正しい生活が続けることは日中の活力や意欲の向上につながることを児童に周知し、家庭にも協力をお願いしていく。

3 スマートフォンやけいたい電話について

■分析と今後の指導上の工夫

・58.3%の児童がスマートフォンを持っている。全員がフィルタリングを設定し、家庭で明確な使用上のルールを決めた上で使用している。今後も「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言」の各家庭への周知徹底を図っていく。また、児童にもこの宣言についてしっかりと指導し、情報モラルについても指導していく。

4 あなたの体力や健康、食事、安全について

■分析と今後の指導上の工夫

・「運動をすることは大切だと思う」の設問では、肯定割合は100%であり、児童は運動の大切さを理解していると考えられる。「休み時間や放課後、休日などに自分から進んで運動をするようにしている」の肯定割合も市の肯定割合を大きく上回っている。今後も、学校で児童への声掛けをしたり、家庭への呼びかけをしたりしながら、運動の習慣化を促していきたい。

・食事に関する設問では、肯定割合が高い。食事のマナーや栄養のバランスなど、児童は食事や健康に対する関心が高いことが分かる。日々の給食指導を基盤に、校内給食週間での意識付けなどの食育指導の積み重ねによるものと考えられる。

・「安全」についての項目では、ほとんどの設問で、肯定割合が100%であった。今後も安全に気を付けて行動することができるよう、指導を継続する。